

## 第3回 立川市多文化共生推進委員会 会議録（要旨）

■開催日時 令和5年5月18日（木） 午後7時～午後8時40分

■開催場所 立川市役所 2階 210会議室

■出席者 <委員>細江委員長、木下副委員長、猿渡委員、森田委員、李委員  
<事務局>比留間市民協働課長、早野多文化共生係長

■傍聴者 1名

### ■次第

1. 開会
2. 議題
  - (1) 第4次多文化共生推進プランの進捗状況について
  - (2) 在住外国人意向調査について
  - (3) その他
3. 今後の日程について

### ■配布資料

1. 第4次多文化共生推進プラン 各事業の取組状況調査票
  2. 第4次多文化共生推進プランの検証・評価
  3. 第3期立川市多文化共生推進委員会報告書
  4. 立川市 在住外国人アンケート調査 質問票（案）
  5. 在住外国人アンケート調査 WEB回答画面（案）
- 参考 外国人のための生活ガイド

## ■会議内容（要旨）

### 1. 開 会

委員長より、会議の成立、会議の公開について説明

### 2. 議 題

（1）立川市第4次多文化共生推進プランの進捗状況について

#### <事務局>

○資料1「第4次多文化共生推進プラン 各事業の取組状況調査票」について説明  
調査の概要を説明。主に重点項目について補足説明

#### <委員>

- ・各委員より、所属団体の活動について報告
- ・窓口多言語対応電話通訳委託について、質問があった。
- ・「防災関連資料等の多言語化」について、防災マップを翻訳することも大事だが、マップそのものを周知していく必要があるのではないかという意見があった。

#### <事務局>

○資料2「第4次多文化共生推進プランの検証・評価」について説明

- ・当委員会は、プランに基づく施策の検証・評価について協議することになっており、委員会終了時に、いただいたご意見等を報告書としてまとめているため、前回に引き続き皆様にご意見をいただきたい。
- ・今回は、柱2「外国人市民の生活支援」、柱4「多文化共生の推進体制の整備」についてご意見を伺う。

「立川市第4次多文化共生推進プラン」について、施策の柱ごとに検証する。

#### ●施策の柱2：「外国人市民の生活支援」

○施策3「生活に関する情報の提供」

#### <委員>

- ・多文化交流サロン「えんがわ」について現状報告。より実りある交流ができるよう、開催回数、開催方法等を検討していく必要がある。
- ・不動産業者等への啓発事業について質問

○施策4「教育体制の充実」

#### <委員>

- ・通訳協力員の派遣時間について、一人当たり400時間では十分ではない。

・通訳協力員の通訳に頼っている間は日本語の能力はアップしないことから、派遣時間数だけで、是非を論じないほうが良い。並行して、日本語教育を公的にやる仕組みが必要である。

- ・学校の先生も、日本語教育が必要であると感じている。
- ・外国人学校就学児への支援について質問

#### ○施策5「健康な生活のための支援」

##### <委員>

- ・前回の外国人意向調査の結果にあったように、医療通訳などのサポートがあれば、安心して医療機関にかかることができると思う。
- ・国民健康保険の制度などの長期的な情報も重要だが、ウイルスの流行などの短期的な情報について、外国人は取得しにくいと感じている。
- ・テレビのニュースで情報を知って、インターネットで調べることがあるが、日本語がわからない人だとそもそも知ることができないので、インターネットで検索することもしない。
- ・インターネットを見るのが面倒だと感じる方が多いので、外国人がぱっとわかるようなコーナーがあると良いと思う。
- ・立川市公式ラインの友だち登録は、立川市に転入するときが一番良いタイミングだと思う。

##### <事務局>

- ・外国人のための生活ガイドに、多言語で対応できる医療機関を検索できるサイトの案内等を載せている。
- ・外国人のための生活ガイドに、立川市公式ラインの友だち登録を載せるよう検討する。

#### ○施策6「災害に対する備えと情報提供の充実」

##### <委員>

- ・今年度も、たちかわ多文化共生センターと立川国際友好協会合同で、防災館で防災体験の事業を実施予定

#### ●施策の柱4：「多文化共生の推進体制の整備」

#### ○施策11「地域における各主体との連携・協働」

##### <委員>

- ・たちかわ多文化共生センターの周年行事で各団体の発表があり、改めて活動内容を知ることができてよかった。それぞれの活動がうまくつながっていくと良いと思っている。
- ・立川国際友好協会の周年行事で、受講者とボランティアがペアでトークをした。当該外国人を含めて、市内で活動していることがわかるような場面を作れると、幅広く関心を持ってもらえると思う。

## ○施策 12 「行政分野横断的な連携・意識啓発」

### <委員>

- ・多文化共生行政推進会議について質問
- ・公式的な場面で、日本人は敬語を使っていてわかりにくい。最初は自分が日本語に自信がもてなくて話すのがこわいと思っていた。やさしい日本語であれば、外国人に理解しやすいと思う。
- ・行政用語は、日本人にとっても、日本語としても難しいので、かみ砕いて説明する必要がある。
- ・日本語を読むことはできないけど、話せばわかるというレベルの外国人も多い。通知を送りつけるだけでなく、一言電話をしてくれれば理解できることもある。

### <事務局>

- ・外国人のための相談窓口の周知について、ご意見を伺いたい。

### <委員>

- ・チラシや、ホームページで周知している。表は一般的な内容、裏に 12 言語に翻訳したチラシにつながる QR コードを載せた新しいチラシを近々配布予定。
- ・本当に必要としている方にどのように届けるのかというのは難しいと感じている。

### <事務局>

#### ○資料 3 「第 3 期立川市多文化共生推進委員会報告書」について説明

- ・多文化共生推進プラン全体を通してのご意見について、今後の課題としてどのようなものがあげられるかを次回の委員会で伺いたい。

#### (2) 在住外国人意向調査について

資料 4 「立川市 在住外国人意向調査 質問票 (案)」、資料 5 「在住外国人アンケート調査 WEB 回答画面 (案)」について説明

- ・前回より質問項目を減らした。
- ・WEB からも回答できるようにする予定
- ・アンケートは 10 月頃実施予定。たちかわ多文化共生センターに、対面での調査を依頼する。

### <委員>

- ・性別、母語、在留資格などの選択肢について意見があった。

#### (3) その他

### <事務局>

- 外国人のための生活ガイドについて説明。

・今年度から市役所の市民課と、窓口サービスセンターで転入手続きをした外国人の方へ配布している。ご意見をいただきながら改善していきたい。

○ウクライナの避難民について報告

・都営団地に5戸の住居を確保していたが、20戸に増やしたとの連絡が東京都よりあった。

<委員>

- ・東京都の在京外国人生徒対象入試について意見があった
- ・外国人のための生活ガイドは日本語と少し英語が併記してあるが、日本語が全くわからない人にはわからないと思う。

3. 今後の日程について

【次回日程】 令和6年度1月頃開催（予定）